



八戸圏域における「地域連携 IC カード」を利用した IC 乗車サービスの提供について

- 八戸市（市長：小林 眞）、岩手県北自動車株式会社（岩手県盛岡市 代表取締役社長：松本 順）、東日本旅客鉄道株式会社（東京都渋谷区 代表取締役社長：深澤 祐二）は、「地域連携 IC カード」を利用した IC 乗車サービスの提供について合意いたしました。
- 公営と民営の事業者が協力してエリア全体で導入する初めてのケースであり、交通ネットワークとしての利便性向上が期待できます。

1 地域連携 IC カードの概要

地域連携 IC カードは、八戸圏域を運行するバスの定期券や各種割引などの地域独自サービスの機能に加え、Suica エリアおよび Suica と相互利用を行っているエリアで利用可能な乗車券や電子マネーなどの Suica のサービスが、1 枚で利用可能な 2in1 カードです。

2 地域連携 IC カードで提供するサービスについて

八戸圏域では、八戸市交通部と岩手県北自動車南部支社（旧：南部バス株式会社）が等間隔・共同運行や、上限運賃政策、路線再編などに共同で取り組んでおります。

両事業者が協力して地域連携 IC カードを導入することで、ポイントサービス・乗継割引などの地域独自サービスの充実と事業者連携による共通サービスの実現を目指します。

また、既存の Suica や Suica と相互利用可能な他の交通系 IC カードで両事業者のバスをご利用いただけるようになり、観光など圏域外からのお客さまの利便性も向上します。さらに、精算方法がキャッシュレスになることにより、新型コロナウイルス感染予防対策としても有効です。導入後は、乗降データを利活用して適切な運行経路やダイヤへの見直しを行い、圏域全体のバスネットワークの持続性確保と利用促進を図ってまいります。

3 IC 乗車サービス対象路線

八戸市交通部及び岩手県北自動車南部支社が運行する八戸圏域全ての路線で導入を予定しております。

4 サービス開始時期

2022 年春までのサービス開始を予定しています。具体的な日時については、決定次第お知らせいたします。